

7．河川・下水道

7-1．河川・下水道に関する現状と課題

滝川市は、石狩川・空知川の２大河川を中心として、江部乙川やラウネ川などの河川に囲まれた地域であり、過去に水害に見舞われ大きな被害を受けた経験があります。一方で、河川の自然環境を活かし、河川敷ではスポーツ広場、ゴルフ場、航空公園などが整備され、健康づくりや各種イベントなどの場として市民に親しまれてきました。また、「まちづくり・川づくり協議会」などの河川を活かした市民主体の地域づくり活動もみられています。

公共下水道については、衛生的な都市生活のために計画的に整備が進められ、平成１４年度で計画された下水道整備がほぼ完了しました。今後は水質保全、環境衛生の面から適切な維持管理、質向上に努めていく必要があります。

以上の状況から、今後の河川整備においては、治水対策の推進とともに、河川空間を活用した都市づくりを推進し、また、豊かな自然環境を保全することにより、地域資源としての魅力を向上し、地球環境の保全に寄与することが重要となります。

下水道整備においては、旧合流区域の分流化事業を進めるとともに整備が終了した下水施設を適切に維持し、水質保全、環境衛生の面からさらなる質向上を進める必要があるほか、循環型社会の形成に寄与する下水道施設のあり方が問われています。

7-2．河川・下水道の基本方針

環境にやさしい都市づくりを支え、市民生活の安全安心、やすらぎを創出

１．災害に強い河川

水害による多大な被害が見込まれる地域であるため、河川氾濫を防止する洪水調節施設の適切な整備・維持管理、丘陵堤・低水路護岸等の河川の治水事業を確実に進め、都市の安全性向上を図ります。

２．市民が憩い楽しめる河川

２大河川に囲まれた特性のある地域であることから、環境教育、市民の憩い、健康づくりなど、河川環境を活かした都市づくりを進めます。また、これらを進めるためには、河川の自然環境を保全していくことが重要であり、多自然川づくりの推進、周辺緑地の保全を図ります。

３．快適な生活環境の持続

これまで計画的に整備を進めてきた下水道施設の適切な維持管理を進め、また、水質保全、環境衛生の面からさらなる質向上を進めることにより、市民生活における衛生環境の質向上とその持続を図ります。また、下水処理の複合化など、循環型社会の形成により持続可能な都市づくりを積極的に進めます。

7-3．河川の方針

(1) 基本的考え方

石狩川、空知川、ラウネ川等の河川整備計画に基づいて事業を推進します。水害による都市の安全性確保のため、河川氾濫を防止する洪水調節施設の適切な整備・維持管理、丘陵堤・低水路護岸等の河川の治水事業を確実に進めます。また、河川に囲まれた地域特性を活かし、河川の自然環境保全を図りながら、環境教育、市民の憩い、健康づくりなど、河川環境を活かした都市づくりを進めます。

(2) 整備方針

治水対策

洪水調節施設の適切な整備・維持管理、丘陵堤・低水路護岸等の河川の治水事業を進めます。

- ・内水排除（樋門・排水施設）の整備、更新
- ・滝川排水機場、池の前排水機場、江部乙川の救急排水施設の維持管理
- ・石狩川の丘陵堤の整備
- ・江部乙川の河川改修（河川法2条7号区間及び流下能力の改善（道費区間））

河川環境

河川の自然環境保全を図りながら、環境教育、市民の憩い、健康づくりなど、河川環境を活かした都市づくりを進めます。

- ・ラウネ川の水質改善
- ・水質改善のための清掃活動等
- ・水質調査等の環境調査の継続的实施
- ・鳥類や魚類、野生動植物等の生息環境の適切な保全
- ・多自然型工法による整備・改修
- ・石狩川再生の森（ラウネ川）などの河川における植樹、草刈り活動等の推進
- ・石狩川、空知川流域住民の参加とネットワーク形成を目指した川の駅の設置

水環境

7-4．下水道の方針

(1) 基本的考え方

整備が終了した下水道施設の適切な維持管理を進め、また、水質保全、環境衛生の面からさらなる質向上を進めます。また、下水処理の複合化など、循環型社会の形成により持続可能な都市づくりを積極的に進めます。

(2) 整備方針

施設の維持管理

下水道施設の適切な維持管理を進め、また、水質保全、環境衛生の面からさらなる質向上を図ります。

- ・既存の下水処理区域の維持
- ・下水道の水質の維持管理（定期検査の実施など）
- ・下水道の長寿命化、耐震化計画策定
- ・合流式下水道の分流式への段階的な移行（今後約 20 年間で順次事業実施することとし、平成 25 年までは 122.3ha のうち 35ha を整備予定）
- ・下水処理区域外における合併浄化槽の設置

循環型社会の形成

下水処理の複合化など、循環型の仕組みづくり、施設整備を進めます。

- ・下水処理における生ごみ処理ディスポーザーとの一元管理

河川・下水道整備方針図



8．都市防災

8-1. 都市防災に関する現状と課題

近年、全国各地で発生している災害の状況をみると、大規模地震の発生が予想されている地域以外でも大規模な地震が発生したり、台風や前線に伴う集中豪雨や予測できないゲリラ豪雨の発生頻度が著しく増加し、自然災害への危険性が高まっています。また、滝川市は、石狩川・空知川の2大河川を中心として、江部乙川やラウネ川に囲まれており、浸水の危険性のある地域や地すべり、がけ崩れの危険性があります。

そのため、避難路、電気・ガス・水道、情報通信等のライフラインの強化とともに、避難所の整備や公共施設、民間住宅等の耐震改修の推進などを進めていくことが重要であり、自然災害から市民の生命と財産を守り、市民が安心・安全に暮らせる災害に強い都市の形成を図る必要があります。

また、市民主体の自主防災組織の育成・支援、市民への防災情報の提供や防災意識の啓蒙普及とともに、周辺市町との広域防災の取り組みを図る必要があります。

8-2. 都市防災の基本方針

**災害に強い都市づくりを進めるとともに、
市民自らの地域防災力の強化により市民の安全・安心を確保**

(1) 災害などへの対応強化

災害に強い都市づくりを進めるため、地域防災計画、耐震改修促進計画などにもとづき、電気、水道、ガスなどのライフラインや防災拠点となる施設の安全性を確保します。

(2) 治水対策の促進

自然環境に配慮しながら河川の維持管理や水害対策を適切に行うため、河川整備計画などにもとづき、護岸整備及び堤防の築造や低地帯などの排水施設の整備とともに、河川環境に関する情報の共有化を図ります。

(3) 積雪に強い都市づくり

冬期間における交通の円滑化と安全性確保、居住環境の改善を図るため、積雪に配慮した体系的な市街地内の道路整備や防雪施設・融雪施設の整備、除雪体制の強化を図ります。

(4) 市民の防災対応力の向上

市民が自らの安全を守り、災害時の被害軽減及び災害後の円滑な復興活動に向けて行政と協働で地域の災害対応力を向上するため、コミュニティ街区を中心とした地域の防災対策を行うとともに、市民による自主防災組織の育成支援、防災訓練などの活動を支援します。

8-2. 都市防災の方針

(1) 基本的考え方

地域防災計画、耐震改修促進計画などにもとづき、災害に強い都市基盤の整備や防災を考慮した土地利用計画などとともに、コミュニティ街区を中心とした地域の防災対策による市民の防災力向上など、ハード・ソフト両面からの取り組みを行い、市民の安全、安心を確保する災害に強い都市の形成を図ります。

(2) 整備方針

1) 災害への対応の強化

災害発生時に迅速な対応ができるよう電気、水道、ガスなどのライフラインを確保するとともに避難所や避難路を確保し、災害応急活動の拠点となる市役所、消防署、病院、避難場所となる学校等の公共施設の安全性を確保します。

- ・長寿命化計画などにもなう道路、橋梁、下水等の耐震化
- ・滝川市耐震改修促進計画に基づく多数の人が利用する市有建築物、避難施設の耐震化

対象：文化センター、総合福祉センター、農村環境改善センター、滝川市知的障害者サービスセンター、人ホーム緑寿園、青年体育センター、滝川市立滝川第一小学校、滝川市立滝川第二小学校、滝川市立滝川第三小学校、滝川市立東栄小学校、滝川市立西小学校、滝川市立東小学校、滝川市立江部乙小学校、滝川市立江陵中学校、滝川市立明苑中学校、滝川市立開西中学校、滝川市立江部乙中学校、滝川市立西高等学校、二の坂保育所、中央保育所、勤労青少年ホーム、滝川スポーツセンター、空知教育センター、消防本部庁舎、滝川こどもセンター、消防本部庁舎

2) 治水対策の促進

河川整備計画などにもとづき、石狩川・空知川・江部乙川・ラウネ川などの護岸整備及び堤防の築造など維持管理を適切に行うとともに、低地帯の排水施設の整備による内水対策、流域対策を行います。また、河川環境に関する情報収集・提供、水防訓練、河川に関する研修を行い、市民と協力した治水対策を行います。

- ・河川改修工事
- ・河川の河岸保護工
- ・内水排除（樋門・排水施設）の整備、更新
- ・水防訓練の実施
- ・河川環境に関する情報収集・提供

3) 積雪に強い都市環境の整備

冬期間における積雪に対応し、道路の安全性確保や防雪施設、融雪施設の整備を行うとともに、堆雪スペースが確保された住宅の整備を促進します。また、コミュニティ街区を中心とした地域協働の除雪体制づくりを推進します。

- ・路面凍結防止策
- ・融雪槽の普及
- ・地域協働の除排雪の体制づくり

4) 防災意識の啓蒙普及・情報提供

災害時の被害軽減及び災害後の円滑な復興活動に向け、災害発生時に効率的な避難誘導、応急対策を進めるため、防災に関する情報システムの整備を行います。また、滝川地区地域防災施設を地域の防災拠点として活用し、市民による自主防災組織の育成支援、防災訓練などの活動を支援し、市民の防災意識の向上と防災に関する地域コミュニティの強化を図ります。

- ・ 地域防災計画にもとづく災害対策、被害軽減対策等
- ・ 自主防災組織育成（滝川市地域防災計画）
- ・ 災害時の被害や安全対策について市民の意識啓蒙普及
- ・ 市民参加の防災活動による市民の防災意識の向上
- ・ FMG`SKY や国の防災情報共有システムによる防災情報提供（滝川市総合計画）
- ・ 石狩川中流河川防災ステーションの検討（国、石狩川（下流）河川整備計画）
- ・ 洪水ハザードマップ啓発・普及

都市防災方針図

